



No. 269 郵便番号 937 発行 富山県 魚津市役所 編集発行人 高瀬善一郎 毎月1回1日発行 印刷 魚津印刷KK

たばこは市内で... 旅行や出張の際のたばこ、贈答用たばこは、ぜひ市内で買いましょう。



43年4月～9月

# 市の財政状況

市政が円滑に運営されているかどうかは、市民生活と深いつながりを持っています。魚津市の財政事情をよく知っていただくため毎年二回財政状況を公表しております。今回は、43年4月から9月までの財政状況をお知らせいたします。

なお、43年度実施することになっていない投資的事業のものもはつきりしております。

9月末の一般会計予算総額は十四億六千九百九十九万九千九百九十九円です。このうち市民が直接負担される市税については四億七千九百九十九万九千九百九十九円、前年度より一人あたり九百九十九円増です。

## 市税の負担

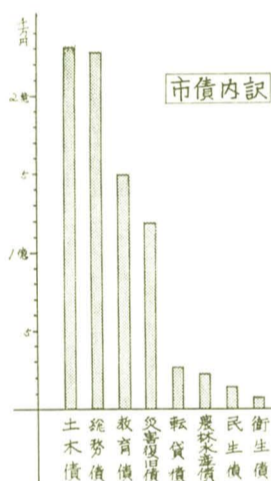
一人あたり九百九十九円

### 市税負担内訳

税目	予算額	1人あたり負担額
市民税	176,626	3,749
固定資産税	211,456	4,489
軽自動車税	6,541	139
たばこ消費税	48,119	1,021
電気ガス税	26,000	552
その他の税	1,270	28
合計	470,012	9,978

## 市有財産

特別会計の9月末における収支状況は、全部をあわせた予算額が二億五千八百五十五万九千九百九十九円、支出額が二億五千八百五十五万九千九百九十九円、収支は均衡しております。



### 土地・建物

区分	土地	建物
本庁舎	10,168	8,410
消防施設	840	1,288
その他の行政施設	115,096	1,414
学校関係	94,358	54,383
公営住宅	17,801	22,349
その他の公共施設	84,465	12,162
山林	9,423	9,289
山貨	9,289	1,604
その他の土地建物	19,487	1,619
合計	360,927	103,229

## 選挙人名簿の登録

申し出は12月2日までに

選挙は、選挙権があっても選挙人名簿に登録されていなければなりません。選挙人名簿に追加登録するための登録日が年四回に改められましたが、12月1日はこの最後の登録日です。

## 体力テスト

市教委では「体力テスト」を12月1日(日)午前9時から12時まで大町小学校で実施します。反復横とび、握力、ジグザグドリブル、背筋力、四種目のテストを行います。

## 43年度上半期状況

一般会計における当初予算額は十一億七千六百六十二万二千二百七十九円、その後の6月に一億九千二百七十六万円を追加し、9月に九千七百二十三万円を追加し、予算総額は十四億六千六百六十五万九千九百九十九円となりました。

## 収入、支出割合はともに38%

9月末現在の収入総額は五億六千七百七十六万円で、予算額に対して三八・四割の収入割合となっています。このうち市税は、ほぼ順調に納入され二億二千二百万円、地方交付税は七千九百九十九万九千九百九十九円が収入されています。

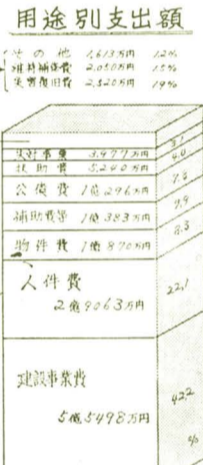
市では住みよいまちづくりのため、道路、学校、住宅などの建設事業を実施し、住みよいまちづくりを進めています。そのためには財源が不足します。そこで大蔵省や郵政省、市中銀行などからお金を借りて事業を進めています。9月末現在の市債は八億八千九百九十九万九千九百九十九円、このうち3月末より七千九百九十九万九千九百九十九円、市民一人あたり七千九百九十九円、一万七千二百二十五円の借金をしていることとなります。

## 健全な財政維持に努力

### 42年度決算から

#### 一般会計

42年度は、高架橋建設や都市施設の整備事業、市庁舎建設など、大規模な継続事業が実施されました。このため、財政事情は厳しくなりました。収入の大きな割合を占める市税もあまり増収が期待できず、もっぱら国や県の財政援助にたよらなければならぬ苦しい市の台所でしたが、できるだけ経費の節減につとめた結果、健全財政を維持することができました。



## 建設事業費 42%占める

支出額を用途別に別けてみると、右図のように、いちばん多いのは建設事業費で、つぎが人件費、これをあわせると全体の六四割を占めることとなります。建設事業に使われたのは五億五千四百九十五万円で、これは歳出総額の四二・二割にあたり

## 特別会計

特別会計における収入総額は二億二千九百五十七万九千九百九十九円、支出は二億二千六百七十三万九千九百九十九円、それを差し引きすると二百八十四万九千九百九十九円が剰余額となります。

### 42年度特別会計決算状況

会計別	収入額	支出額	差引残額
下水道事業	4,027	4,027	0
簡易水道事業	540	505	35
々々(大海寺)	1,852	1,421	431
々々(鉢)	217	149	68
国民健康保険	185,670	185,025	645
々々(直診)	8,465	7,376	1,089
農業共済(農作物)	13,608	13,608	0
々々(家畜)	1,857	1,710	147
々々(業務)	13,338	12,913	425
計	229,574	226,734	2,840

## 飲食後は「公給領収証」を

わたしたちがお酒を飲んだり、料理を食べたり、旅行先で旅館に泊った場合、料理飲食などの消費税がかかります。したがって勘定のときは、県から交付してある「公給領収証」を必ず受け取り、税金が正しく県へ納付されたことを確かめましょう。

### 42年度一般会計決算状況

区分	予算額	収入額	収入割合
市	441,526	445,111	100.8
臨時地方財政交付金	865	865	100
地方交付金	158,371	158,875	100.3
分担金	38,370	41,408	107.9
分担料	33,453	35,331	105.6
国庫支出金	246,346	235,923	95.8
県庫支出金	77,243	75,425	97.6
県財政収入	48,680	28,492	58.5
寄附金	5,848	6,800	116.3
繰越金	90,251	89,212	98.8
収入	21,845	26,884	123.1
借入金	181,300	180,200	99.4
合計	1,344,098	1,324,526	98.5

区分	予算額	支出額	支出割合
議事費	20,688	20,078	97.1
総務費	259,890	254,885	98.1
民生費	148,200	143,874	97.1
衛生費	42,367	39,938	94.3
労働費	42,037	41,306	98.3
農業費	135,791	132,409	97.5
林業費	28,898	27,820	96.3
水産費	310,389	301,504	97.1
工業費	34,309	34,137	99.5
土木費	191,231	190,637	99.7
防衛費	25,251	24,403	96.6
復旧費	103,620	103,182	99.6
災害費	927	922	99.5
公債費	500	—	—
諸支費	—	—	—
予備費	—	—	—
合計	1,344,098	1,315,095	97.8

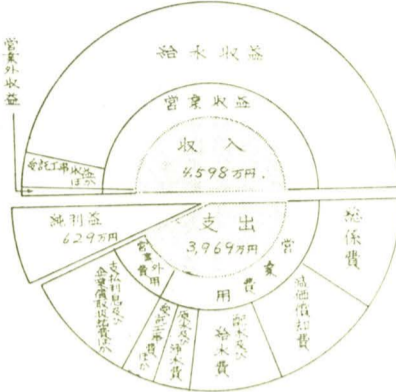
43年4月9月の水道事業あらまし

拡張工事などすすめる

水道局では、昭和42年4月1日から9月30日までの水道事業会計の概況を公表しましたが、つぎに42年度決算を中心にして43年度上半期のあらましをお知らせします。

42年度決算

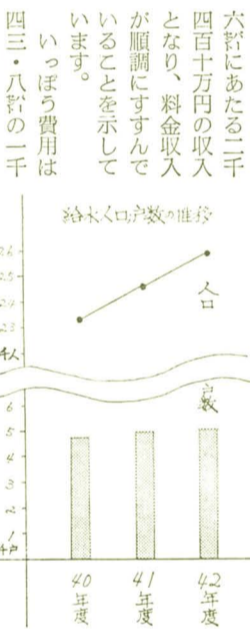
水道事業は、42年4月から地方公営企業法の適用を受け、一般行政とは区別され、運営が行なわれてきたが、こんどはじめての決算状況がまとまりました。内容については議会の決算特別委員会で審議中です。昭和42年度中に実施した事業には、配水管の布設、不感メーターの取り替えなど、つぎのようなものがあります。



ますと、差し引き六百二十九万四千九百七十六円が42年度の純利益となりました。前年度引継金あわせて六百三十一万九千六百円が42年度末処分利益剰余金となり、このうち、三百二十五万九千五百二十二円が建設改良積立金に、残り三百一十六万八千八百三十四円が建設改良積立金に充てられました。今年度償還額が七百九十二万七千五百五十三円、給水戸数は五千四百九十九戸

43年度上半期

ます、43年度水道事業における建設改良工事は、住宅がふえるに地帯の配水管布設、補助水源池の増設、市内一円の配水補助管布設、有取水量の効率を高めるため不感メーター器一千個の取り替えなどが計画されています。このうち、9月末までに実施



43年度上半期損益収支

Table showing the 43rd year upper half profit and loss statement. It lists various categories like 'Water Revenue', 'Water Expenses', 'Business Expenses', etc., with columns for '43rd Year Actual', '9 months cumulative', and 'Percentage of Budget'.

された拡張工事は、①高架橋融雪用などのため道坂地内の片貝川流域に三百六十五万円で補助水源池を増設、②魚津高校前通り延長三百七十メートル、③配水管を八十六万円で布設、④市道大町七十五号配水管を二十二万円で布設、⑤寺町通りの元ガス管が腐蝕しているため、口径五十センチ管延長二百メートルを布設、などとなっています。

また、損益勘定では、水道便用料など二千四百九十九万四千円円の収入がありましたが、給水費や人件費など二千九百七十四万二千円円の費用が発生しております。これを差し引きますと、四百四十五万一千九百九十九円の純利益を生じたこととなります。

この期間中の配水量は百三十三万六千立方メートル、このうち給水されたのは六十一万二千立方メートル、有取率は四六割になっております。一人一日あたりの給水量は百二十九リットルとなり、これは一・八リットル(一升びん)七十分の水を使っていることとなります。また、一立方メートルあたりの給水原価は二十九円二銭、供給価格は三十三円七十八銭に なっております。

42年度の決算状況は下表のとおりです。これにより、営業収益四千五百七十二万五千五百円、これに対し営業費用が三千六百三十三万九千九百九十九円となり、営業利益は一千五百八十八万九千九百九十九円、営業外収益は二百六十二万九千九百九十九円、営業外費用は九百九十九万九千九百九十九円を加減し

Table titled '42年度水道事業損益計算書' (42nd Year Water Utility Profit and Loss Statement). It shows a detailed breakdown of income and expenses, resulting in a net profit of 6,294,976 yen.

Table titled '貸借対照表' (Balance Sheet). It shows assets (流動資産, 固定資産) and liabilities/equity (流動負債, 資本), totaling 204,668,277 yen.



読書週間 ポスター・感想文の入選者 図書館では、読書週間の行事としてポスターと感想文を募集していただきました。やく二百点の参加があり、審査の結果、次の人が入選しました。

火の元を点検しよう 26日から秋の火災予防運動 秋の火災予防運動が11月26日から12月2日まで行なわれます。これは、①バケツ一杯の水のくみ置き、②たばこの投げ捨てと投棄、③地震のときの火の始末、の三つを重点事項として実施されます。

家庭防炎会議 火災や地震にそなえて、あなたの家でも食事のときを利用して「防炎会議」をひらき、①たばこの吸いはどうするか、②火の取り扱いはどうするか、③火の始末はどうか、④火の発生場所から出火したときどうするか、⑤避難は安全にできるか、⑥空気が乾燥し強い風のとおりはどうか、⑦消火器の取り扱いはどうするか、⑧消火器の取り扱いはどうするか、⑨消火器の取り扱いはどうするか、⑩消火器の取り扱いはどうするか、⑪消火器の取り扱いはどうするか、⑫消火器の取り扱いはどうするか、⑬消火器の取り扱いはどうするか、⑭消火器の取り扱いはどうするか、⑮消火器の取り扱いはどうするか、⑯消火器の取り扱いはどうするか、⑰消火器の取り扱いはどうするか、⑱消火器の取り扱いはどうするか、⑲消火器の取り扱いはどうするか、⑳消火器の取り扱いはどうするか、㉑消火器の取り扱いはどうするか、㉒消火器の取り扱いはどうするか、㉓消火器の取り扱いはどうするか、㉔消火器の取り扱いはどうするか、㉕消火器の取り扱いはどうするか、㉖消火器の取り扱いはどうするか、㉗消火器の取り扱いはどうするか、㉘消火器の取り扱いはどうするか、㉙消火器の取り扱いはどうするか、㉚消火器の取り扱いはどうするか、㉛消火器の取り扱いはどうするか、㉜消火器の取り扱いはどうするか、㉝消火器の取り扱いはどうするか、㉞消火器の取り扱いはどうするか、㉟消火器の取り扱いはどうするか、㊱消火器の取り扱いはどうするか、㊲消火器の取り扱いはどうするか、㊳消火器の取り扱いはどうするか、㊴消火器の取り扱いはどうするか、㊵消火器の取り扱いはどうするか、㊶消火器の取り扱いはどうするか、㊷消火器の取り扱いはどうするか、㊸消火器の取り扱いはどうするか、㊹消火器の取り扱いはどうするか、㊺消火器の取り扱いはどうするか、㊻消火器の取り扱いはどうするか、㊼消火器の取り扱いはどうするか、㊽消火器の取り扱いはどうするか、㊾消火器の取り扱いはどうするか、㊿消火器の取り扱いはどうするか、

届け出が必要 最近、暖房などに石油類を非常に多く使うようになってきました。石油類の貯蔵については火災予防、延焼予防の面から消防法や市火災予防条例できびしく規制されています。ご注意願います。